

単年度水道事業評価シート(令和年度)

1 事業情報

担当課

上水道維持課

目指すべき方向性	安全	基本政策	1 安全・安心な水道水の確保	施策	1-3 安全な水道水の提供	事業	1-3-2 水道管洗浄の促進
----------	----	------	----------------	----	---------------	----	----------------

2 事業評価の概要

視点	内容							
何のために【政策】	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。							
どんな問題を解決するか【事業目的】	・水道管の多くは鑄鉄管またはダクタイル鑄鉄管であり、管内面に防錆処理をしていますが、鉄錆の発生等により濁り水が発生する恐れがあります。そのため、水道管内の洗浄作業を実施することにより、管内状態を改善し、安全・安心な水道水を提供します。							
どのような道筋で【目標】(単年度)	①配水管洗管計画に基づき、効率的に洗管作業を行う。 ②水質劣化の起こりやすい配水管末端地区やお客様ニーズの高い地区を定期的に排水作業を行う。							
期間	平成31年4月 ~ 令和2年3月							
いくらかけて【予算額・決算額】	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	39,226	39,226	0	0	0	0	0%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	39,226	39,226		0			0%
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
人件費	12,245	12,245		0			0%	
どういう成果を達成するか【成果指標】	①配水管洗管計画(戸塚・芝地区)に基づき効率的に作業を行い、配水管路のメンテナンスが施された状態。 ②水質劣化の起こりやすい配水管路末端地区やお客様ニーズの高い地区を定期的に排水作業を行い、お客様の要望に応えた状況。							

3 プロセス結果の検証

評点	視点	内容					
中間評価	上半期何をどのように執行したか【現状把握】	①配水管洗管計画(令和元年度戸塚地区46,700m 芝地区19,500m)に基づき業務委託を発注し、夜間洗管作業や関係住民との調整を進めている。 ②水質劣化の起こりやすい市内配水管路末端地区等19箇所について定期的な排水作業を行っている。					
60点	下半期改善すべき点は何か【改善目標】	①芝地区の配水洗管作業において職員で緊急時の協力体制を整えると共に、作業が効率よく遂行できるよう準備を進める。 ②引き続き水質劣化の起こりやすい市内配水管路末端地区等19箇所について定期的な排水作業を行っていく。					
	どのくらい進んだか【進捗度】	執行(契約)事業費	36,410千円	事業進捗度	自己評価	B 予定通りの成果を上げた	
	予算執行率	93%	評価者結果		B 予定通りの成果を上げた		
終了時評価	どういう成果を達成したか【達成状況】						
0点	次年度に解決すべき点は何か【次年度解決策】						

単年度水道事業評価シート(令和年度)

4 改善経過の点検と評価

視点	項目	評点	5 常に全員	4 概ね多数	3 一部	2 あまり~ない	1 ほとんど~ない	中間	終了		
人員	意識	この事業による社会全体への貢献を職員は常に意識していますか？							3	選択	
	適材適数	業務の適正に応じた柔軟な偏りのない業務分担を行っていますか？							3	選択	
中間	12	成果	課の職員が事業の成果や目的を意識していますか？							3	選択
終了	0	連携	この事業に必要な連携(局内・市長部局・委託業者等・県等)はできていますか？							3	選択
手段	手段	目的達成に必要な手段や方法は、既成概念に囚われず、新たな視点で検討していますか？							3	選択	
	可視化共有	目的達成に必要な手段や方法を、可視化し、情報共有していますか？							3	選択	
中間	12	方法	当初計画や予定よりも優れた代替方法を検討していますか？							3	選択
終了	0	目的化	この事業は、上位目的達成の手段として有効であることが、組織で理解されていますか？							3	選択
工程	進め方	目的を達成する工程が、全体最適の視点から作られていますか？							3	選択	
	合目的性	水道利用者の視点に立ち、ニーズや利便性を反映した改善をしていますか？							3	選択	
中間	12	学習	課題・問題点が発生したら、その都度、プロセス全体を検証し改善していますか？							3	選択
終了	0	当事者意識	職員が主体的に行動していますか？							3	選択
予算	利益	上下水道局の利益ばかりでなく、社会全体の利益まで意識していますか？							3	選択	
	効果効率	より低いコストで成果をあげる工夫を施し予定以上の費用対効果を出していますか？							3	選択	
中間	12	コスト検証	当初計画や予定よりも優れた代替方法による予算の効率的活用が常に検討されていますか？							3	選択
終了	0	成果	成果指標を上まわっていますか？							3	選択
期間	タイムマネジメント	工程を構造化したタイムスケジュールを可視化・共有し、停滞時間削減に取り組んでいますか？							3	選択	
	タイムコスト	時間=コストを意識し、ムリ・ムラ・ムダの検証を行っていますか？							3	選択	
中間	12	期間の設定	業務集中を避け、局全体の事業執行を最適化するように期間を設定していますか？							3	選択
終了	0	成果達成	短期間で成果を達成するよう、期間を検討し、進捗を確認、期間修正を行っていますか？							3	選択

5 事後評価

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3
指標名	【PI C505】水質に対する苦情対応割合	単位	件/千件	目標値	0.43		
算出式・根拠	(水質苦情対応件数/給水件数) × 1,000			実績値			
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			

視点	自己評価	評価根拠の説明(自己評価の根拠を具体的に記述します。不達成の場合は、原因、改善策を明示します。) A=予定以上の成果を上げた / B=予定通りの成果を上げた / C=成果は出ているが予定に達していない D=結果は出ているが成果は出していない / E=不十分な結果にとどまる、または結果が出ていない	評価者結果
達成度	選択		選択
効率性	選択		選択
有効性	選択		選択
説明責任	選択		選択
組織学習	選択		選択
総合評価	選択		次年度方針
			選択